

# 原稿執筆上の規約

2017年10月21日改正  
2021年3月22日改正  
2023年7月24日改正  
2024年1月23日改正

## 1. 原稿の執筆

- 1・1 原稿は、A4 白紙に原稿見本を参照の上、25 字×51 行×2 段=2550 字、横書き（刷上り 1 ページに相当）に執筆する。
- 1・2 手書きは不可とする。
- 1・3 図表の大きさ、間隔などが不適切なものは、必ずしも原稿どおりの印刷ページ数とならないので、7. に定める規約を遵守すること。

## 2. 記載の順序

第 1 ページには次の事項を番号順に必ず記載する。その体裁は原稿見本に従うものとする。

### 【和文原稿の場合】

- (1) 和文題名
- (2) 和文著者名
- (3) 英文題名（巻頭言の場合は不要）
- (4) 英文著者名（巻頭言の場合は不要）
- (5) 英文要旨（論文および資料の場合のみ記載）
- (6) 英文キーワード（国内外トピックスおよび巻頭言の場合は不要）

および、最下段に本文との間に線を入れて

- (7) 和文の会員種別・所属・所在地、英文の所属・所在地  
（委員会報告および巻頭言の場合は不要）

を記載する。

本文は、原稿見本のように上記(1)~(6)のうち必要な項目を記述した後に、1 行空けて書き始める。

### 【英文原稿の場合】

- (1) 英文題名
- (2) 英文著者名
- (3) 英文要旨
- (4) 英文キーワード

および、最下段に本文との間に線を入れて

- (5) 英文の会員種別・所属・所在地

を記載する。

本文は、原稿見本のように上記(1)~(4)のうち必要な項目を記述した後に、1 行空けて書き始める。

## 3. 題 名

原稿の内容を的確に表し、かつ簡潔な題名をつける。巻頭言を除き、和文原稿の場合には英文題名も付記する。なお、一連の内容を投稿する場合には、その原稿の内容を的確に表す独立した題名をつけ、大題名は脚注として最下段に本文との間に線を入れて記載する。また、題名に略語や一般的ではない用語を用いることは極力避ける。

## 4. 英文要旨

論文および資料には、必ず英文要旨を記載する。

英文要旨には、目的、方法、結果等を 200~300 語程度に要約する。要旨は、それだけを読んでも研究の主要な成果が具体的にわかるように、かつ冗長にならないように注意する。なお、本文中の図・表、文献等は引用しない。また式が必要な場合には本文中の式番号を引用するのではなく、式そのものを記載する。

## 5. キーワード

キーワードは、原稿の内容を的確に表す重要なものを 5~10 語句（140 字以内）選択し、英文で記載する。



つの文献のみを対応させ、*ibid.* や *idem.* 使用しない。

(3) 引用した外国文献の書名、著者名等は不明りょうになりがちなので入念に書くように注意する。

(4) 著者名は連名者全員を書き、他3名、*et al*などと略さない。

(5) 論文題目と書名は全体の先頭文字だけを大文字で、雑誌名と出版社等は前置詞以外の各単語の先頭文字を大文字で表記する。

#### 【雑誌の場合】

文献番号) 著者名、論文題目、雑誌名 西暦発行年;巻:開始ページ-終了ページ。

ただし、

- ・雑誌名は適宜省略してもよいが、略語の後にピリオドは付けない。英語表記の存在しない和文雑誌の場合は、英訳せずにローマ字で記述する。
- ・発行年は西暦をアラビア数字で書く。
- ・巻はアラビア数字で書く。
- ・開始ページと終了ページはアラビア数字で書き、開始ページと終了ページの間には「-」(ハイフン)を必ず付ける。

[例] 1) Uematsu Y, Tokaji K, Tozaki Y, Nakashima Y, Shimizu T. Fatigue behaviour of dissimilar friction stir spot welds between A6061-T6 and low carbon steel sheets welded by a scroll grooved tool without probe. *Fatigue Fract Eng Mater Struct* 2011;34:581-591.

[※その他\(ASME PVT など\)の例については、学会ホームページ参照のこと。](#)

#### 【講演論文集, Proceedings の場合】

文献番号) 著者名、論文題目、講演論文集名または Proc 名、西暦発行年;開始ページ-終了ページ、発行所。

[例] 1) Ueno A, Kishimoto H. Development of in-situ observation fatigue testing systems and their application. *Proc 7th Inter Fatigue Cong* 1999;2795-2800, Higher Education Press.

#### 【単行本の場合】

文献番号) 著者名また編集者名、書名、西暦発行年、開始ページ-終了ページ、発行所。

[例] 1) Kittel C. *Introduction to solid state physics* 1976;56-87, John Wiley & Sons.

[※その他\(ASTM STP など\)の例については、学会ホームページ参照のこと。](#)

#### 【特許の場合】

文献番号) 特許出願者名、発明の名称、特許番号(公開特許公報等の西暦発行年)。

ただし、出願国名を特許番号の前につける。

[例] 1) T. Zairyo, *Material testing system*, JP.2003-012345 (2003).

2) T. Zairyo, *Material testing system*, U.S. Pat.No.0, 123, 456 (2004).

## 7 図および表

7・1 図および表は著者の描いたものがそのまま掲載される。

7・2 図および表には必ず説明文(caption)をつける。なお、1つの図・表の中に(a),(b)のように複数の図表がある場合は全体の説明文をつける。

論文、資料および委員会報告の場合は、説明文および図・表の中の文字は必ず英文とする。その他の記事では和文を原則とする。(和文原稿の場合)

7・3 図中の記号はなるべく簡単なもの(○, △, □, ◇, ●, ▲, ■, ◆, ◎など)を用いる。本文中に図中の記号を引用する場合はとくに簡単なものにする。

7・4 和文および英文の論文、資料、および委員会報告の場合、図および表の番号は Fig.1, Table 2 のように表す。

その他の和文の記事では、図1, 表2のように表す。英文の場合、図および表の番号は Fig.1, Table 2 のように表す。いずれの場合もそれぞれ通し番号とする。なお、写真は図として取扱い、Photo 1 あるいは写真2などは用いない。

7・5 図、写真、表はその割付にあたっては以下の点に注意する。

(a) 図・表は本文中の説明と離れないような位置に設定する。

(b) 図・表どうし、あるいは図・表と本文などは1行(約6mm)以上間隔をあけるようにする。

(c) 図・表が1段に収まらない場合には2段とおしにすることができる。

7・6 図、写真、表は鮮明でなければならない。不鮮明な場合には再提出を求めることがある。

#### 【図および表の見本】

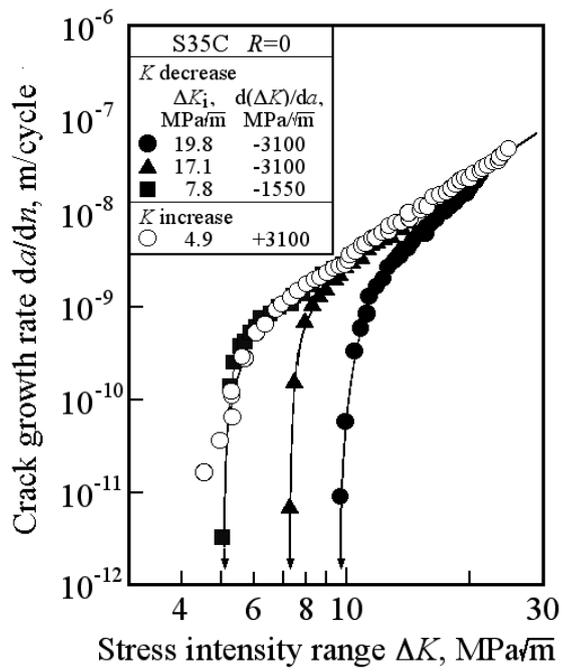


Fig. 1 Relationship between  $da/dn$  and  $\Delta K$ .

Table 1 Mechanical properties of materials.

Material	Young's modulus $E$ , GPa	Poisson's ratio $\nu$	Yield strength $\sigma_Y$ , MPa
Aluminum alloy	72	0.31	455
Stainless steel	193	0.28	286
Copper	124	0.33	60